

会員数 57 名
欠 席 者
訪 問 者
前々回出席率

出席者43名・欠席者14名・免除会員2名
麻田・福田・池田・稲田・和泉享・加内・松山・森・中野昌
中川・野口・菅・竹内・田中・会員
78.57%(8/10)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 夏見 良宏
幹 事 和泉 清憲
会報委員長 塩田 等

お知らせ

- 8月のプログラム
3 (No.1)-クラブフォーラム
10 (No.2)-暑気払い&歓迎会
17 (No.3)-休 会
24 (No.4)-クラブフォーラム
31 (No.4)-客 話

- 他RC例会変更
丸亀東 8/8 夜間例会
8/15 休会
坂出 8/15→8/11 家族会
8/22 休会

- ニコニコBOX;なし
よいことがありました
秋山憲夫君
なんとなく
夏見君 山内光君
「ビールとドイツ音楽のゆべ」には
たくさんご来場頂きありがとうございます
9/3四国新聞健康新聞コラムも
ぜひご一読ください
塩田君
丸亀警察署長をお迎えて
石合君

<ニコニコ会計累積/¥118,000>

- がんばるBOX;なし
綾田丸亀警察署長をお迎えて
大西君 曾川君

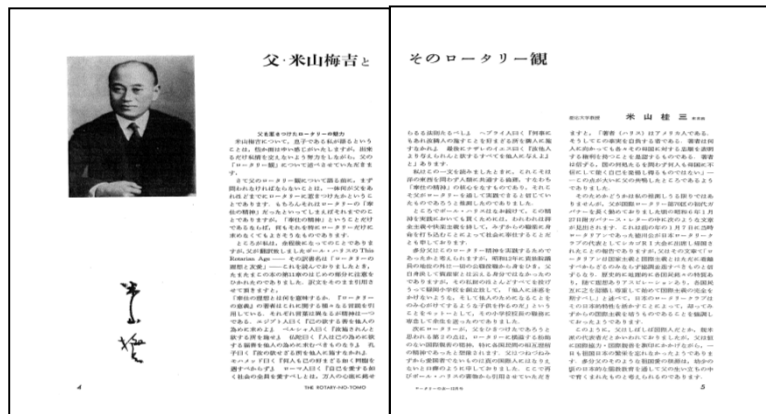
<がんばる会計累積/¥99,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテ

■会長挨拶

日本のロータリー史「弾圧」1930年～1940年「ロータリーの父 米山梅吉」
1920年、米山梅吉氏らによって持ち込まれたロータリー精神は、戦時下の弾
圧を乗り越えて、戦後に引き継がれました。当時のロータリークラブに対する
弾圧は大変なものでした。“ロータリーはアメリカのスパイだ。フリーメイソンの
隠れみのだ。”と言われ、例会は憲兵や特高警察の監視の中でおこなわれ、
卓話も事前に警察に届けなければならませんでした。さらには軍当局からロー
タリーの組織機構は大日本帝国に対する反逆であるとまで極限され、遂に、
1940年ロータリークラブは解散することになったのです。では、日本のロータ
リーがなくなったのかと言いますと、ロータリーという組織は崩壊しましたが名
前を変えロータリーの「根底に流れる理念」は継続されたのです。



■幹事報告

①ガバナー事務所からのガバナノミー推薦の依頼について
異議がなければ「推薦者なし」で回答いたします

②地区大会の参加申し込み(本登録)

11月17～19日の本年度地区大会の出欠を7日の例会までにご回答ください
(仮登録者も再度ご回答ください)

■例会事業;客話;丸亀警察署 署長綾田浩三様「高齢者の交通安全」

1.香川県の現状

高齢者の死亡事故の現状 平成29年
19/33人 58%(歩行者8人、自転車8人、
二輪1人、四輪2人)

丸亀警察署管内の現状 平成27年～現在
13/23人 57%(歩行者7人、自転車3人、
二輪1人、四輪2人)

県下の人身交通事故多発交差点ランキング 平成27年
ワースト1位 高松市東山崎町交差点・・・ワースト4位丸亀市城西ポンプ
場前交差点



2017.8.31

Vol.55

No8

(2672)

2.問題点

75才以上のドライバーが関係する人身事故件数は約700人、全体の約2割を占めている。いろんなところで開催されている交通安全教室に参加している方と、されていない方がいて、交通安全に対する認識の差がある。ブレーキ・アクセルの踏み違い、ゆっくりゆっくり運転、二輪車のふらふら運転等、運転技能の低下が見受けられる。

3.対策

各種交通取締の結果、丸亀警察署管内では5000件、県下の約1／7。香川県の1万人当たりの取締件数は全国で5番目。制服警官、パトカー、白バイを見せることにより、法令順守意識を持たせる。高齢者を対象にした交通安全教室を140回／年を行っている。交通事故事例等を発信している。なんしょんな作戦を実施・・・パトロール中の警察官が夜間早朝に散歩している方で反射材がない人に直接反射材を貼付(今までに400人)している。高齢者宅への訪問による交通安全教育・指導を行っている。警察OBによる訪問。75才以上で1年に2回以上交通事故を起こした人への訪問。交番、駐在所員が各世帯へ訪問。

今年、道路交通法が改正され、運転免許の自主返納が多くなっている。75歳以上の高齢者が、交通違反したときや免許更新時に認知症機能検査をしなければならない。そこで、認知症の可能性があると免許が取り消される。

以上のような、高齢者対策活動をしているが、今後も県警本部中心に、ほかの対策も検討していく。

質問

Q. 自転車の車道通行は、歩道通行より自動車運転者側から見ると、危険なのだが？

A. 難しい問題。高松市では、自転車専用ラインの整備をしている。

以上